



■日本共産党掛川市議会議員

掛川市塩町 3-7

勝川 しほこ

(22)1325

■日本共産党掛川市政策委員長

掛川市家代 2194-6

大井 正

(23)1848

市議会にもっと市民の声を届けたい 対談⑥

原発ゼロこそ原発事故の教訓

★勝川 東日本大震災から、そして福島原発事故から10年。ドイツのようにエネルギー政策がかわることはありませんでした。

★大井 どうも日本の政治指導者は、科学的見識がないのに「政治家の判断は絶対的で、国民は従うはずだ」と思っているらしいですね。でも放射能もコロナも付度してくれません。

★勝川 浜岡をどう思いますか。
★大井 はじめは漠然と「浜岡は東海地震の震源地に近いから危険だ」と思っていたんですが、学習すると原発敷地は日断層系という、海岸に平行に50km〜100kmピッチに14本もの断層が走るエリアの真ん中にあるんですね。超危険ですよ。

★勝川 避難計画をどんなに手直ししても命を守るものには到底ならないと思います。放射能汚染も将来にわたって広範囲で元に戻すことはできません。



冷たい雨の中、福島事故から10年の節目となる金曜アクション

★大井 その通りですね。避難地が富山県なんてありません。冬に避難となったら何人の市民がチーンなどを保有しているでしょうか？それも自己責任ですか？
★勝川 「原発がなくなると雇用が減る」という声を聞きますが、原発を廃炉にするには廃炉作業に20年以上の雇用がうまれます。再生可能エネルギーへの転換はどうしたらいいでしょう。
★大井 再生可能エネルギーを飛躍的に拡大し、機器類の性能アップや照明のLEDといった省エネを促進、浪費防止装置や金属電池といった新技術の開発、さらに省エネ意識の啓蒙などによって達成できると思います。

大井正

にいろいろ聞いてみよう⑥

【質問】趣味は何ですか？

釣りですね。小学2年からフナ・ハヤなどの淡水小物釣りを始めました。中学になると海釣りにはまり、平行して料理も覚え、タイ・ブリ・カツオなどは1本まるごと調理も。刺身だけでなく、焼き物・煮物・揚げ物・蒸し物など一通りできます。現在はキス・イシモチ・ボラ・ハゼ・カレイなどの海辺からの投げ釣りがメインです。



大井・勝川のふたりの後援会の事務所を開きました。

パンフレットやチラシの配布、アンケート活動、宣伝活動などに取組んでいます。ぜひ事務所にもお立ち寄り下さい。



←復数議席回復特設サイト

【勝川議員の市政報告】

2月定例会の一般質問で
コロナ対応を質問しました

●必要に応じて抗原検査だけでなくPCR検査も広く公費で行なうことができないかを問いましたが、今回1万人分備蓄する抗原検査の精度は高く、PCR検査の代わりに感染者の把握ができると考えているとのことでした。クラスターの発生を抑えるために市の負担で面的な検査がすぐにできることが大事だと思えます。備蓄が有効に使えるようにマニュアルなどの整備を求めました。



状況を見ながら新規事業者への給付など要件緩和を考えると、う回答がありました。取り残すことのない支援を求めていきます。
●ワクチン接種は国の方針がはつきりとせず各自自治体が右往左往している状況です。

掛川市も国の動向を見ながら市内の診療所での個別接種（平日）、4カ所の体育館での集団接種（土日）施設担当医などの巡回接種などが組み合わされる予定ですが、接種券の配布や予約方法などはまだ公表できる段階ではありません。
今後、様々な方法でお知らせがまいります。安心して接種しやすい方法が工夫されて接種が進み感染症の拡大が防げるようにしたいものです。